



令和5年度 公開講座

手話言語による面接技術講座

この講座では、ろう者と聴者の通訳業務に加え、ろう者と聴者の間で生じる問題を解決する役割を担う手話通訳士資格を持つ相談員が、修得すべき支援の基礎理論と面接技法を学びます。通訳技術とは異なる知識と技術は、具体的にどのようなものかを、この講座を通して学びます。

日時	令和5年9月10日(日) 10時00分～16時00分 10月8日(日) 10時00分～16時00分
講師	県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科人間福祉学コース 准教授 大下 由美 県立広島大学保健福祉学専攻科博士後期課程2年・東広島市ろうあ者専門相談員 唐澤 美加
会場	県立広島大学 広島キャンパス 2413, 2414, 2451, 1278 講義室 (広島市南区宇品 1-1-71)
対象	手話通訳士資格を有し、相談業務に従事している者
定員	5名
受講料	6,200円
申込締切	令和5年8月21日(月)
問合先	県立広島大学三原地域連携センター 公開講座係 〒723-0053 三原市学園町1-1 電話：0848-60-1120 (平日9時00分～17時00分) FAX：0848-60-1134 メール：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

※講座の詳しい内容と申込方法は、2ページをご覧ください。

令和5年度公開講座「手話言語による面接技術講座」

内容	1	支援の基礎理論と手話技法	大下 由美・唐澤美加
	ろう者と聴者の間で生じる対人関係上の問題を解決するための支援の基礎理論について学びます。そのうえで、解決志向的な面接を進めるための手話の技術を体験的に学びます。支援の手順を踏まえた面接を、受講者同士でロールプレイします。次回の講座までに、課題に取り組んでいただきます。		
	2	手話技法の実践と効果測定	大下 由美・唐澤美加
	1回目の講座で提示した課題の結果を基に、クライアントの訴えの評定、介入計画、そして技法としての手話の選択について振り返りを行います。支援の理論の復習と、手話の技法の定着を図るための体験的な学習プログラムを提供します。		
受講条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座の受講にあたって、マスクの着用は個人の判断にゆだねます。 ・ 飛沫感染を防ぐために、受講者間の会話はできるだけ小さな声で、短時間のうちに済ませるようお願いします。 ・ 咳やくしゃみの際には、咳エチケットにご留意ください。 ・ 熱がある場合、風邪症状がある場合、だるさや息苦しさなど普段と体調が違うと感じる場合、出席をご遠慮ください。 <p>※新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、やむを得ず、公開講座を中止または延期する場合があります。</p> <p>※お申し込みの方は受講条件にご承諾いただいたものといたします。</p>		
申込方法	<p>下記の県立広島大学ホームページ上 URL「申込フォーム」または QR コードからお申込みください。</p> <p>https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=815</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>※申込の方へ受講案内をメールで通知します。メールフィルターの設定をされている場合は、pu-hiroshima.ac.jp からのメールを受信できるよう設定をお願いします。</p>		

県立広島大学 三原地域連携センター